

労働者の情報セキュリティ対策に対する意識と行動に関する研究

竹村敏彦*・田中秀幸**・松浦幹太***

概要

本稿では、Web アンケート調査によって収集したマイクロデータをもとにして、労働者の情報セキュリティおよび情報セキュリティ対策への意識と実際の行動の関係についての分析を試みた。その結果、一般的には、情報セキュリティおよび情報セキュリティ対策に対する意識が高いほど、情報セキュリティおよび情報セキュリティ対策の観点から問題となる行動をとらないことが確認された。さらに、労働形態（正規・非正規）によって情報セキュリティおよび情報セキュリティ対策への意識と行動の関係が異なるか否かについて検証した。その結果、労働形態によって情報セキュリティおよび情報セキュリティ対策への意識の違いはほとんど確認されなかったが、いくつかの行動については違いがあることが確認された。そして、違いが確認された項目に関して、非正規労働者よりも正規労働者の方が情報セキュリティおよび情報セキュリティ対策に関して問題がある行動をとっている傾向があることがわかった。

キーワード：情報セキュリティ、意識、行動、労働者、Web アンケート調査

JEL Classification : C13、D78、L86

* 関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構・助教 E-mail: a084034@kansai-u.ac.jp

** 東京大学大学院情報学環・学際情報学府・教授

*** 東京大学生産技術研究所・准教授

